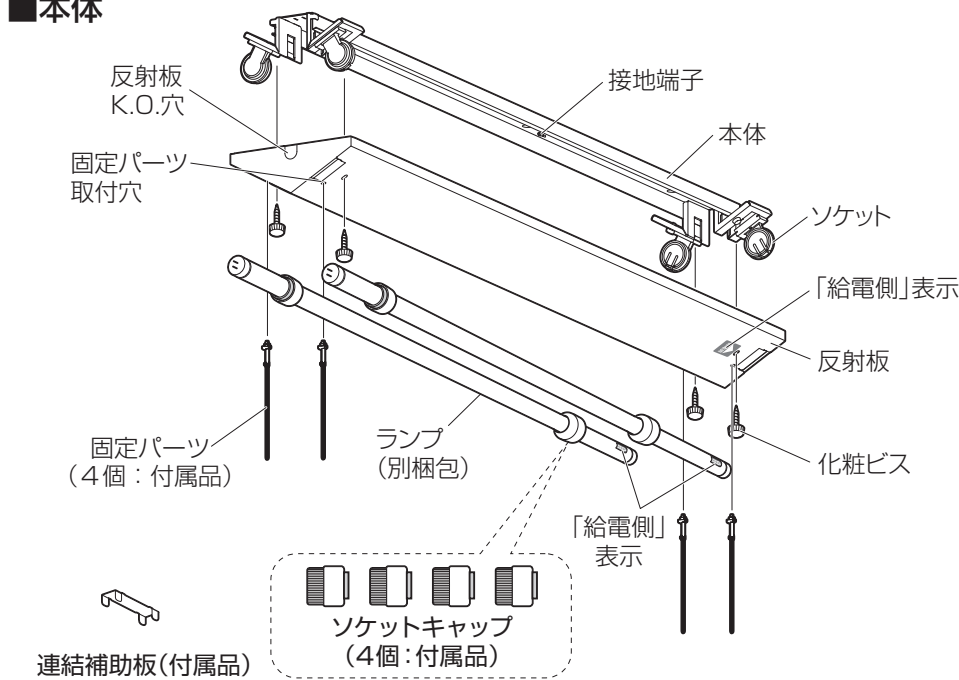
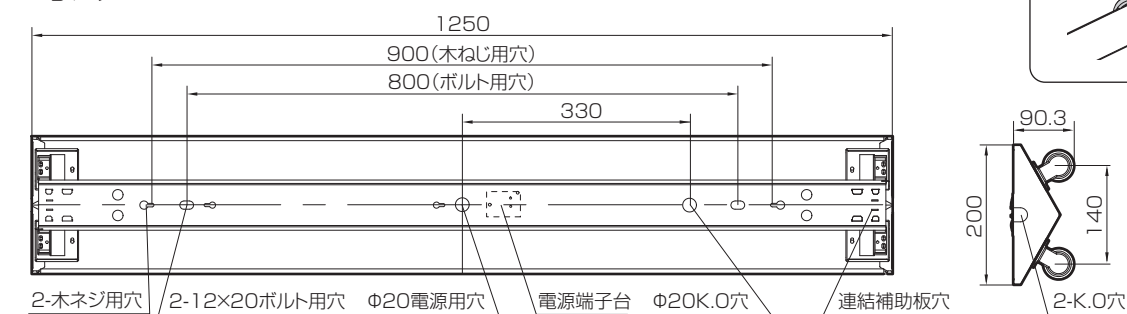


各部の名称

■本体

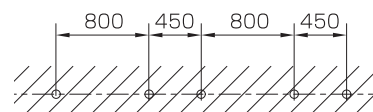


■寸法 (反射板取り付け後の状態/器具背面図)



■連結するとき

●取り付けボルトの間隔



●本体連結方法 付属の連結補助板で連結する

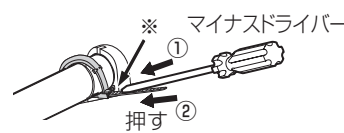


<5連結以上のとき>

- ・複数連結の際は、連結補助板を取り付けながら連結方向へ引っ張り、本体を設置してください。
- ・本体/反射板の取り付けは中央部から両端方向へ順次取り付けてください。
- ・反射板側面のK.O.穴は必ず抜いてから取り付けてください。

■固定パーツのゆるめ方

- ①図位置のつまみ※をマイナスドライバーでかるく持ち上げる。
- ②固定パーツ先端を押し込んでゆるめる。



取り付けかた

- 安全のため部品は正しく取り付けてください。

1 安全確保のため、電源を遮断し手袋を着用する



警告

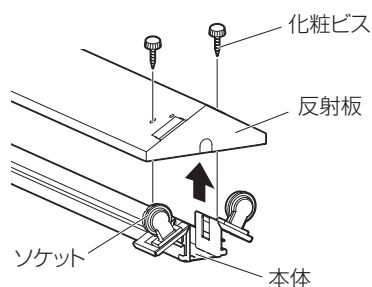
- 電源を遮断しないで作業すると、感電・短絡事故の原因になります。
- 作業の際は、必ず手袋を着用してください。けがの原因になります。

■設置する配線/回路について

- ※電源用送り配線は、器具内の空間が狭いため天井裏を通すことを推奨します。
- ※間引き点灯の場合は、分岐回路側のスイッチを設けて消灯してください

2 本体を反射板からはずす

化粧ビス(4か所)をはずして、ソケットをかるく中央に寄せながら、反射板を本体からゆっくりはずしてください。

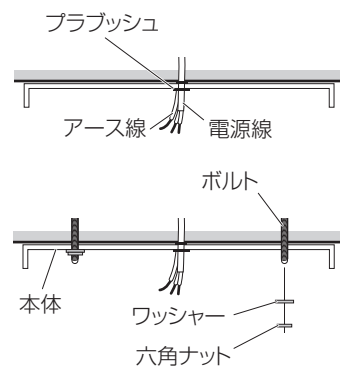


3 器具本体を取り付ける

電源線用穴から電源線とアース線を本体に引き込み、取り付けボルトまたは木ネジで本体を取り付けます。

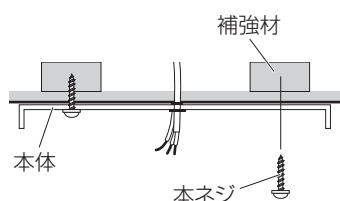
■ボルトによる取り付け

- ※ボルト・ワッシャー・六角ナットは付属していません。
- 器具の重量に十分耐えるように、ボルトの強度をあらかじめ確保しておいてください。
- ナットは必要以上に強く締め付けないでください。器具破損の原因になります。
- 取り付けボルトはW3/8またはM10を使用し、座金を必ず入れてください。



■木ネジによる取り付け

- ※木ネジは付属していません。
- 木ネジは必ず補強材のある場所に取り付けてください。
- 木ネジは丸木ネジの呼び4.1を使用してください。



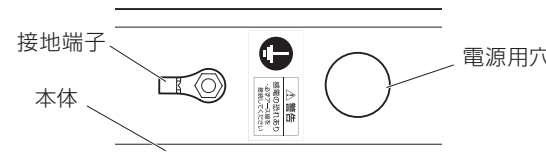
4

電源線接続と接地工事をする

電源線と口出線を接続して、防水処理を行なってください。



●接地端子へD種接地工事を行なってください。



警告

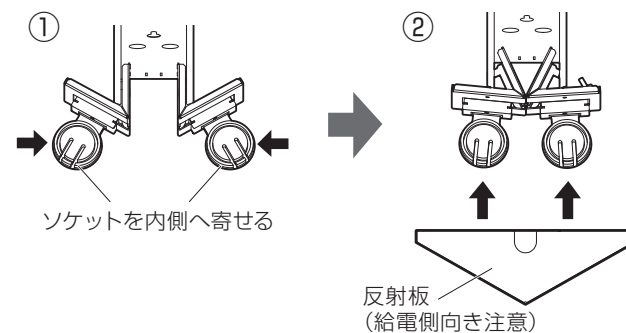
電源の接続および絶縁は確実にに行なってください。接続が正しくないと火災の原因になります。また設置工事は確実にに行なってください。

5

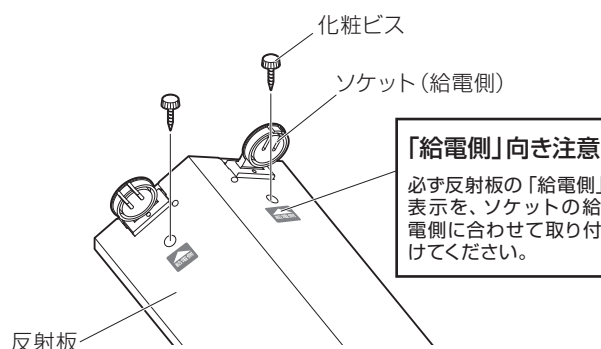
反射板を取り付ける

- ①ソケットを内側に寄せて、反射板のソケット穴を通しやすくします。

- ②ソケットを内側へ寄せたまま、ソケットの給電側を確認し、反射板のソケット穴にソケットをゆっくり通しかぶせてください。(③、給電側確認)



- ③反射板を化粧ビスで固定してください。(4か所)



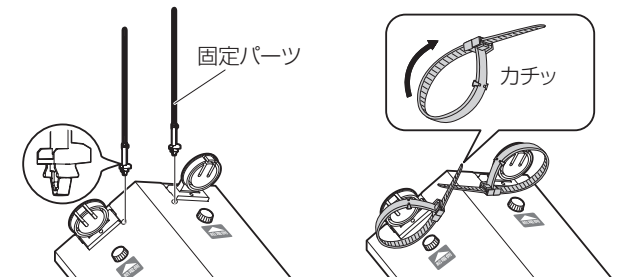
注意

- ソケットの根本部分と反射板が重ならないようにしてください。
- 反射板を取り付ける際には、ソケットを外側へ倒さないでください。破損するおそれがあります。

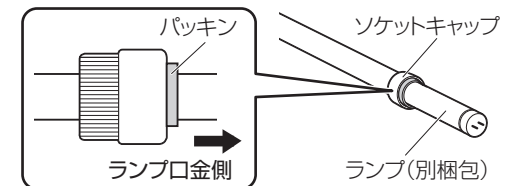
6

ランプを取り付ける

- ①固定パーツを取付穴の奥ま でしっかり差し込む。
- ②固定パーツの先端を少し 通し大きな輪をつくる。



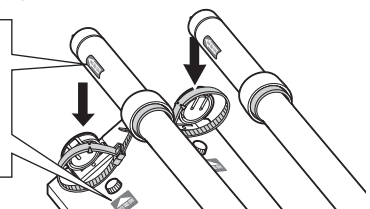
- ③付属のソケットキャップの向きを確認してランプに通す。



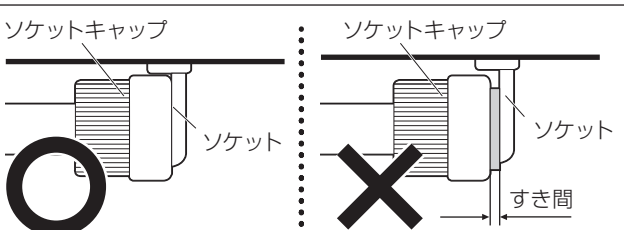
- ④固定パーツの輪の中に口金を通して、ランプをソケットの溝に合わせて入れる。

「給電側」向き注意

必ず反射板の「給電側」に、ランプの「給電側」を合わせて取り付けてください。



- ⑤ソケットキャップを、ソケットとの間にすき間が生じないようにしっかり取り付ける。



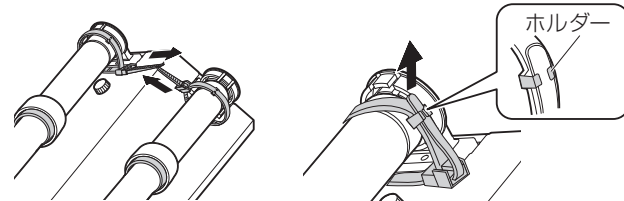
警告

取り付けが正しくないと、防水性能が損なわれ、絶縁不良や感電の原因になります。

7

ランプを固定する

- ①固定パーツでランプの口金を固定する。
- ②固定パーツの余分な部分をホルダーに通す。



注意

口金と固定パーツの間にすき間がないように取り付けてください。また、強く締めつけすぎると不点灯の原因になります。

8

点灯を確認する

電源線を供給し、異常なく点灯することを確認してください。